

マイテイスライダー 取扱説明書

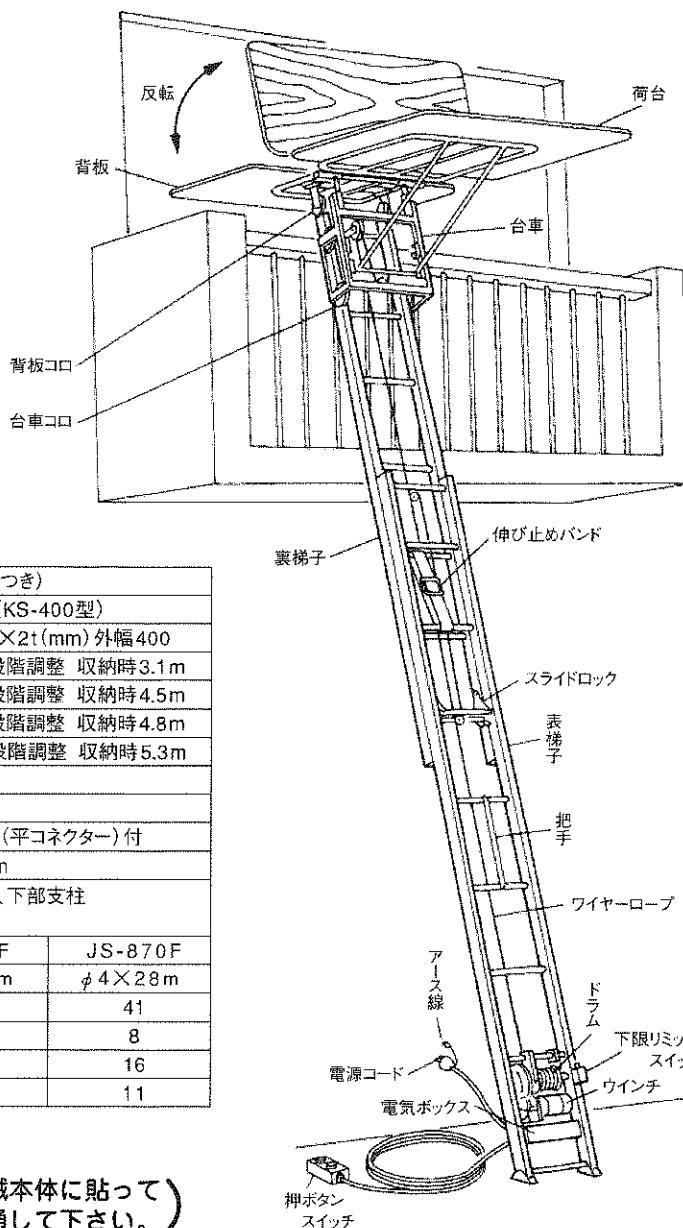
KS-400ウインチ付

JS-480F

JS-2F

JS-3F

JS-870F



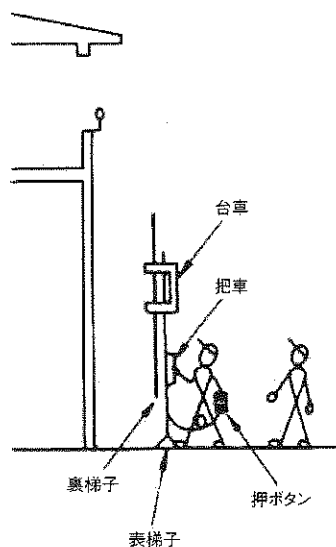
■仕様及び諸元

電 源	一般家庭用単相100V・電源コード1.5m (アース線つき)			
動 力	400W直流モーター、メカニカルブレーキ付ウインチ (KS-400型)			
梯子本体形状	電動スライド式2連梯子 台車組込形□型70×30×2t(mm) 外幅400			
梯 子 長 さ	480F	(4.8m) 3.2m~4.8m 400mm	ピッチ5段階調整	収納時3.1m
	2F	(7.0m) 4.6m~7.0m 400mm	ピッチ7段階調整	収納時4.5m
	3F	(7.7m) 4.9m~7.7m 400mm	ピッチ8段階調整	収納時4.8m
	870F	(8.7m) 5.5m~8.7m 400mm	ピッチ9段階調整	収納時5.3m
積載荷重、速度	120kg-14m/分			
標準使用角度	60°~80°			
操 作 方 法	押しボタン遠隔操作、1.25mm ² ×3芯×10mコード(平コネクター) 付			
荷 台 寸 法	折りたたみ式 巾900mm×奥600mm×背450mm			
安 全 装 置	すべりクラッチ、下限リミットスイッチ、伸び止めバンド、下部支柱 (3F・870F)、非常用手巻ハンドル			
型 式	JS-480F	JS-2F	JS-3F	JS-870F
ワイヤーロープ	φ4×17m	φ4×23m	φ4×25m	φ4×28m
重 量 (kg)	梯子本体33	37	39	41
	ウインチ8	8	8	8
	荷 台16	16	16	16
	下部支柱—	—	11	11

取扱上の注意 (まず取扱説明書本文と機械本体に貼って) (あるラベルすべてに目を通して下さい。)

- ① 運転開始時、ワイヤーロープが正常な位置にあるかどうかを確認して下さい。
- ② スライドロックのかかりを常に確認して使して下さい。必ず伸び止めバンドを使して下さい。
- ③ 梯子上端部と建物側をロープ等で必ずしばって(固定して)下さい。
- ④ 特に2階もしくは3階で押ボタン操作をするとき、コードを台車に引っ掛けないようにして下さい。
- ⑤ 梯子伸縮時は必ず把手を持って下さい。表梯子のステップを持つと必ず手をはさみ危険です。
- ⑥ 押ボタンは確実に押しこむか、確実に開放して下さい。
- ⑦ 異常時、ウインチをはずす場合は、台車を最下部まで下げてははずすこと。途中位置のままでウインチをはずしますと、台車が落下し大変危険です。尚、停電、故障などで押ボタン操作にてウインチが動かなくなり、台車を動かす必要が生じた場合は、ラベルに表記してあるとおり付属の手巻ハンドルでウインチを操作して下さい。
- ⑧ 雨天又は水のかかる時には、ウインチ、電気ボックス、リミットスイッチ、押ボタンに水がかからぬよう、適当なシートなどをかぶせ、漏電防止に努めて下さい。
- ⑨ ワイヤーロープに異常はないか常に点検して下さい。ドラムのワイヤーが乱れた時は整列させてください。
- ⑩ 荷台に乗っての昇降はキケンですので絶対にしないで下さい。また荷台昇降中に梯子の真下に立たないで下さい。
- ⑪ 運搬中は台車を固定バンドで固定し、ウインチ、電気ボックスにはカバーをして下さい。(電気関係は完全防水ではありません。)

1. 梯子の伸ばし方



伸ばし方

- ① 把手を持って梯子を垂直に立てる。
- ② ③: ステップ(棧)を持つと、手をはさみ、危険!
- ② ④ ボタンを押す。
 - 把手→台車→把手と、台車の上昇にあわせて持ちかえる。
 - なれないうちは、持ちかえのときに一旦止めて裏側から梯子をささえてもらう。
- ③ 台車が最上部に達すると裏梯子と台車が一体となって裏梯子が伸びはじめます。
- ④ 適当な長さで、押ボタンによる電動操作で裏梯子を上下しながらスライドロックを掛ける。
 - スライドロックは、次項参照のこと。
- ⑤ 伸ばしすぎの場合、ストッパーにて、梯子の上昇は、止まり、すべりクラッチがすべりますが、通常は伸ばしすぎない様にして下さい。

収納時

まず押ボタンで台車を最上部まで上げて、次項の要領でスライドロックをはずし、裏梯子を収縮させて更に台車を下までおろす。そして伸び止めバンドで台車を固定する。

☆すべりクラッチとは、所定重量以上の力がロープにかかるるとすべるようにする目的の安全装置です。

③ ④ ステップ(棧)を持つと、手をはさみ危険!

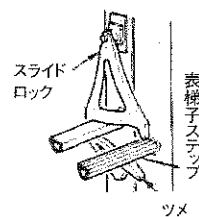
○JS3FとJS870Fは梯子を伸ばすと同時にロープ3階からひっぱり上げ、倒れないように行って下さい。

2. スライドロック

スライドロックは、下図の様に、400mmごとに調整できます。

スライドロックの掛け方

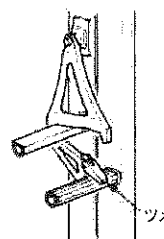
1. 押ボタン④を押し裏梯子を上げる。
2. 表梯子のステップにツメがかかったら、いったん止める。
3. 押ボタン⑤を押し裏梯子を少し下げるとスライドロックが掛かる。



この矢印までスライドロックが移動します。(本機赤色ラベル)

スライドロックのはずし方

1. 押ボタン④を押し少し裏梯子を上げる。
2. ツメがそのステップからはずれたらいったん止める。
3. そのまま⑤ボタンを押すと台車と共に裏梯子が下りてくる。



③ スライドロックのかかりを常に確認して下さい。はずれたままのぼったりすると危険!

⑤ スライドロックは、左右共必ずかけて下さい。

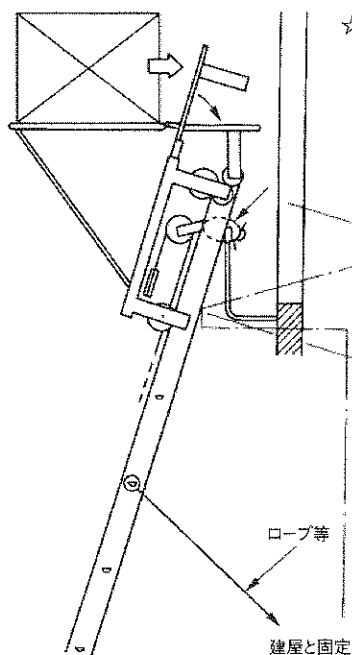
3. 梯子の設置

☆窓、ベランダ等の場合

◎出来るだけ梯子を低くした方が荷物の引込みが楽です。

☆屋根の場合

◎軒先から500mm程度が荷物の積下ろし、梯子の安定性共に最適です。



☆梯子を固定してください。

◎梯子の上端または中間をロープ等でしばって固定してください。

上端を固定しないで使うと倒れやすく危険!

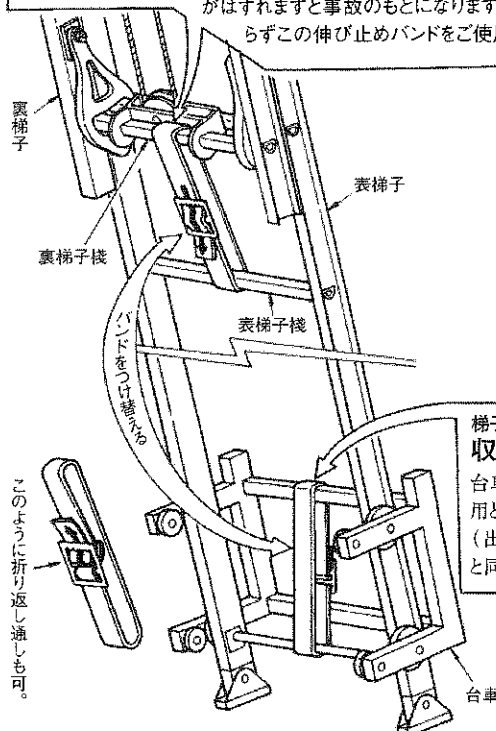
4. 伸び止め(固定)バンドの使用法

☆本品を取付けてから作業を始めて下さい。

裏梯子の最下位置の棧(滑車ブラケットとのスキマを通して)とその下の表梯子の棧を縛って下さい。(上は必ず裏梯子の棧、下は必ず表梯子の棧にしませんと伸び止め防止になりませんのでくれぐれも注意願います。)

梯子使用時

③ 作業中、裏梯子の伸びすぎによりスライドロックがはずれますと事故のもとになりますので、必ずこの伸び止めバンドをご使用下さい。



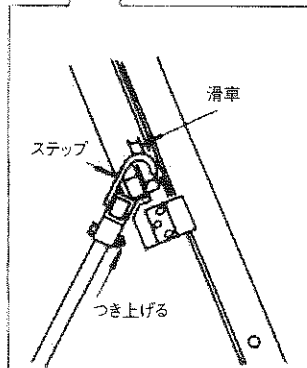
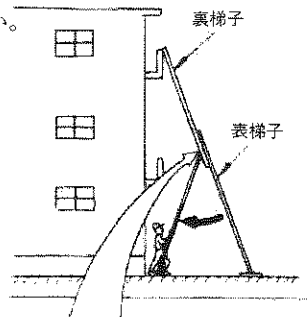
梯子収納時

台車の固定用として使う。(出荷状態と同じ)

このように折り返し通しも可。

5. 支柱のとりつけ (3F 870F)

上記機種は
下部支柱を張ってください。



梯子のたわみをとるように (図参照) つきあげ、右図(3)のYボルトで固定する。

- ①裏梯子下端ステップに支柱先端を引掛ける。
- ◎表梯子には掛けないこと(台車の通過時に当たります。)

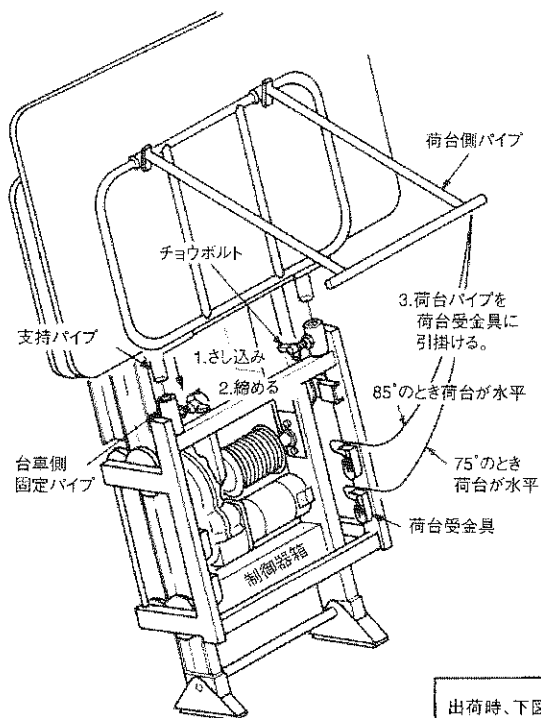
- ②梯子のたわみがとれる位置まで左右均等に張る。



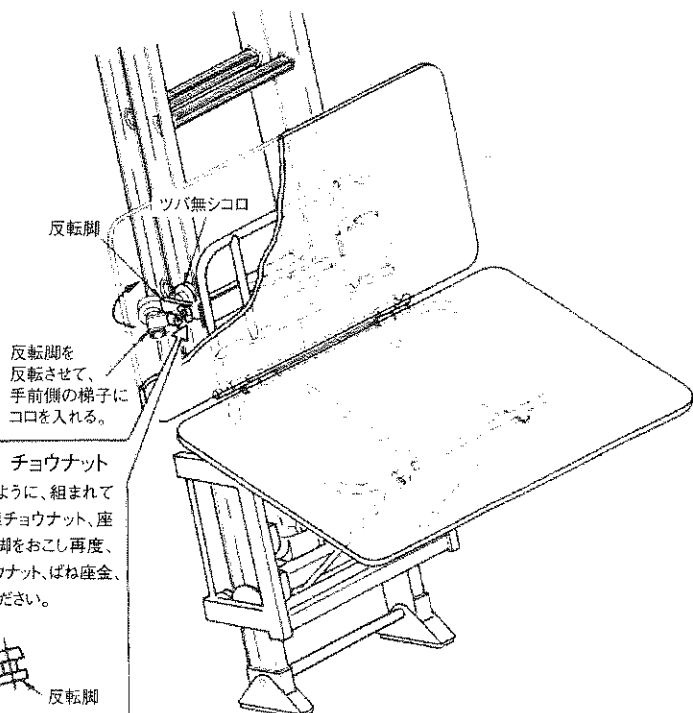
- ③Lボルトにて固定する。

- ④たわみがとれない場合は支柱を持ち上げモーター側に移動する。

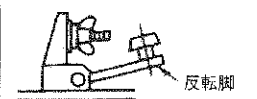
6. 荷台の取付け



1. 荷台を折りたたんだ状態で荷台側パイプを台車側固定パイプにさし込む。
(反転脚を開いておく、左図参照)
2. チョウボルトで固定する。(M10×20ℓ)
3. 荷台パイプを梯子の角度にあわせ台車の荷台受金具に引掛ける。
4. 反転脚を反転させて手前側の梯子にコロを入れて、チヨウナットで固定する。



出荷時、下図のように、組まれていますので一旦チヨウナット、座金をはずし、反転脚をおこし再度、脚の外側からチヨウナット、ばね座金、平座金を入れてください。



7. ウインチの脱着

1. ウインチの脱着について

(梯子の裏側から行います。)

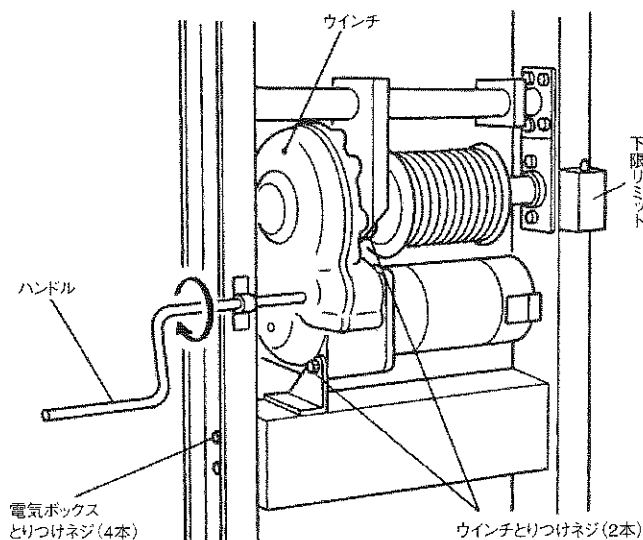
- ①通常、ウインチは、固定装着したままで、運搬、使用します。
- ②ただし故障やメンテナンスのためには必ず必要が生じた場合は、次の要領で行ないます。
 - まずウインチが動く時には、台車を降ろしてからウインチをはずします。
 - ウインチが動かない時には、コンセントを抜いて、制御器箱の裏に格納してあるハンドルをウインチ穴に差し込み、手で回して台車を上げてからスパナでウインチとりつけネジ(2本)をゆるめて、ウインチを横に抜いて下さい。

2. 電気ボックスの脱着について

同様に電気ボックスをはずす場合は、梯子チャンネル内のネジ(4本)と、下限リミットを梯子リブにとりつけてあるネジ(2本)をはずして下さい。

※ウインチの脱着は台車を降ろしてから!

※ハンドルを差したまま絶対運転しないこと!



ウインチ操作上の注意事項

1. 過負荷をしない

積載荷重は定格120kgです、過積みはモーターに負担をかけます。

2. 過度のインチング操作はしない

インチング操作とは、極めて短時間に起動、停止を行う操作で、モーター及び制御器内部品に過電流が連続的に流れますのでモーターの性能劣化や、リレーの接点溶着の原因になります。

3. 急な逆転操作はしない

巻込みから巻戻し、または逆の巻戻しから巻込みの操作は停止しないとできないインターロックが組み込まれてますが、過度の急な逆転操作は2項同様の状態となり故障の原因となります。

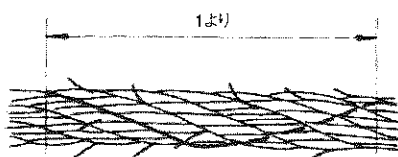
4. 電圧降下状態では操作しない

定格負荷運転時でもAC100V±10%になる様な電源状態の長さ、太さのケーブルに接続して下さい。電圧降下状態では性能が出ませんし、故障に続っていきます。

☆保守点検☆

1

ワイヤーにささくれ(素線切斷)が生じたら交換して下さい。



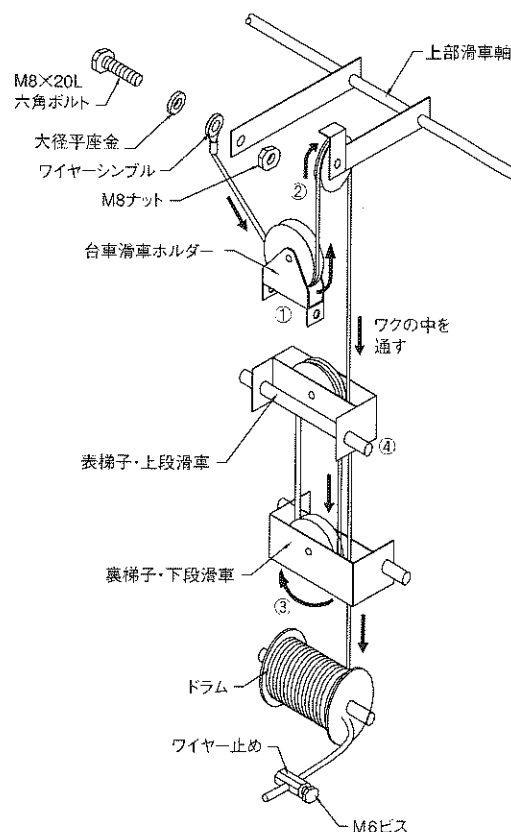
上記の様に1よりで、10本以上素線が切斷したら交換して下さい。

◎ワイヤーの通し方

1. ワイヤーをころがす様にのぼすか、(ゴミの付着に注意)回転してはどける様にすることで、ワイヤーがもつれない様にして置く。



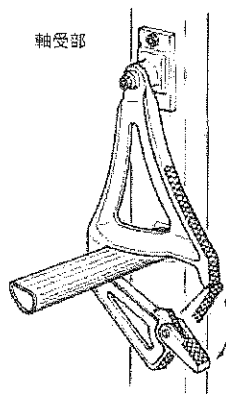
2. シンプルのない側を持ち、上部より台車①のホルダーの中を左から右にとおし②に向ける。
3. ②→③→④と右図の向きでとす。②からは表裏梯子の間をとす。
4. ④からドラム裏側にもってゆく。
5. ドラムの穴に通し、エンド金具で固定する。
6. シンプルをボルトにて固定する。
7. 上ボタンにて、整列させながら、巻取る。



2

スライドロック、台車、荷台、本機の回転部分に給油して下さい。特に必要な部分には、**給油**のマークがあります。

スライドロックを円滑に作動させる為、斜線部分への油塗布、軸受部への給油をお願い致します。又、スライドロックの相手のステップについたドロ・砂等も同時に清掃して下さい。

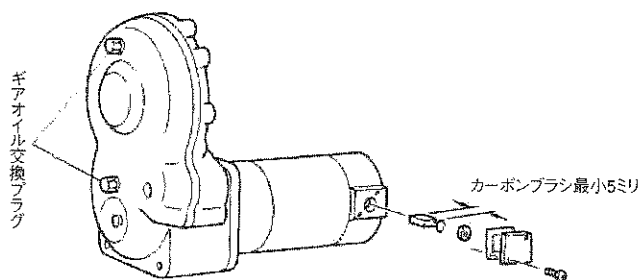


3

カーボンブラシの点検とギアオイルの交換

- ①年に1回程度、カーボンブラシの摩耗状態を点検し、カーボンブラシが5ミリ以下になったら当社純正品と交換して下さい。摩耗したまま使用しますと、モーター故障の原因となります。

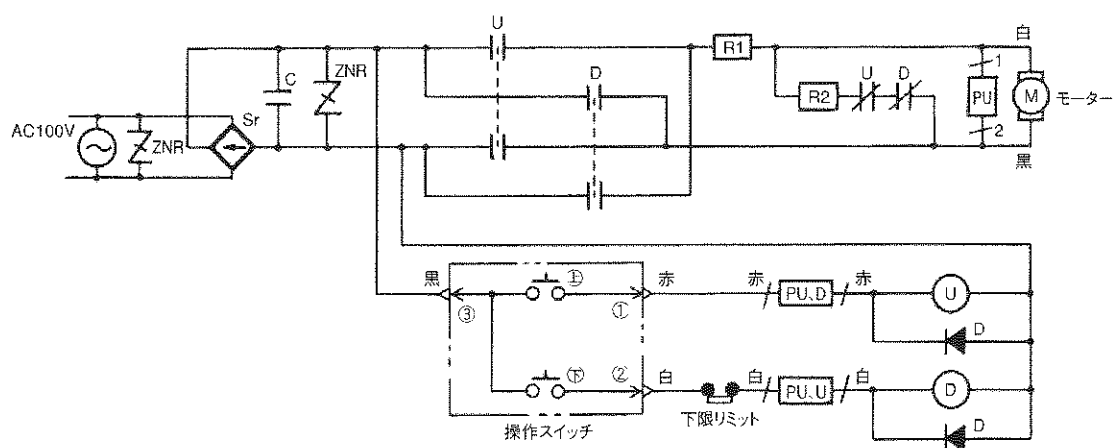
- ②年に1回ギアオイル(コスモギアSE220相当品:300CC)を、当社指定工場にて交換することをおすすめします。



故障の手引

症 状	原 因	処 置	症 状	原 因	処 置
ボタンを押しても動かない	電源がきていない。 電源プラグ又は電源コード、操作コードの断線	修 理	巻上速度が遅い 定格荷重が巻上がらない	オーバーロード 電圧低下	荷を軽くする電源コードを太くし定格電圧にする
	オーバーロード又は使過ぎによるモーター焼損	交 換	漏電ブレーカが動作するか	オーバーロード又は使過ぎによるモーター焼損	
	整流器バンク	交 換	本体に触るとビリビリ電気が来る	モータや操作スイッチへの浸水	ウインチをホースなどで丸洗いしないこと
	コネクタの接続が不完全か、破損	点検・交換	ギヤケースよりガラガラ音が発生する	オイル漏れによるオイル不足	オイル及びオイルシール交換
	電圧降下	点 検		ギヤケースをぶつけて変形させた時	交 換
	モータのブラシ摩耗	交 換	巻下ボタンを押しても動かない	下限リミットが動作しているかリミットコードの断線	修 理
スイッチを切ってから停止するまでの距離が長くなった	ブレーキ・ライニングの摩耗	交 換			
	発電制動用抵抗の断線	修 理			
	電圧が高い	発電機であれば定格電圧に調整する			

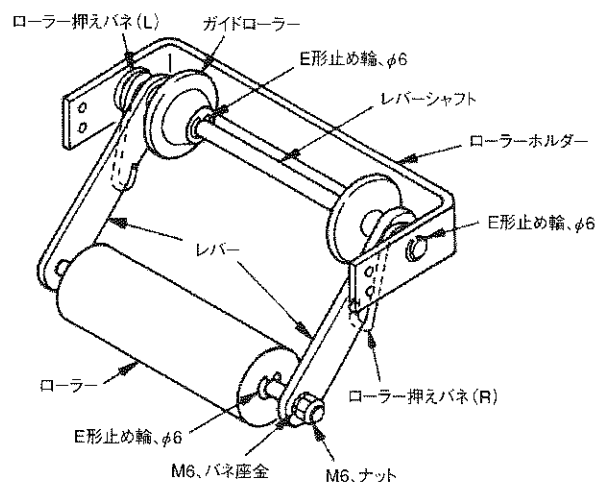
配線図



パーツリスト

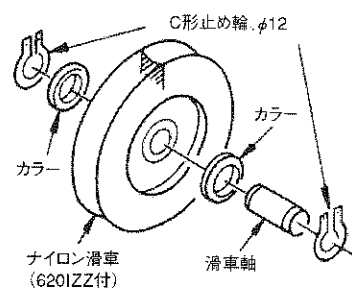
A

ワイヤー押さえローラーセット



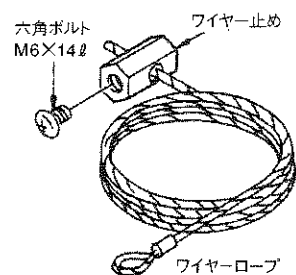
B

ナイロン滑車セット



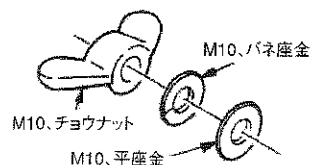
C

ワイヤーロープセット



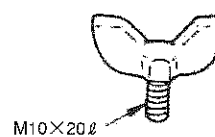
D

チョウナットセット (反転脚用)



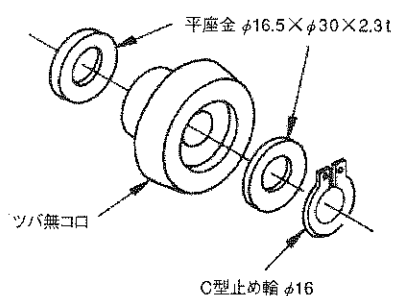
E

チョウボルト (荷台固定用)



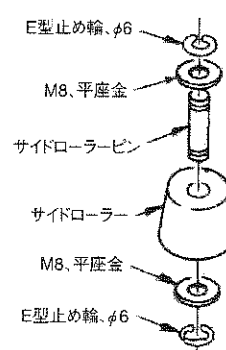
F

ツバ無コロセット



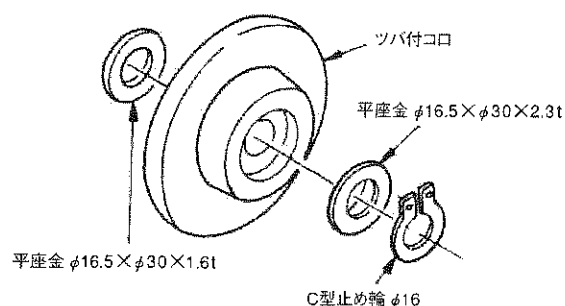
H

サンドローラーセット



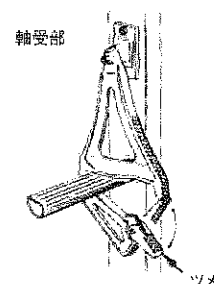
G

ツバ付コロセット



I

スライドロック (右, 左)



全国指定協力工場一覧

平成27年10月6日(改訂)
トーヨーコーケン株式会社

地区	会 社 名	〒	住 所	電 話
北海道	共成電機工業(株)	〒060-0041	札幌市中央区大通東5丁目4番地	011-241-8604
北海道	(有)加藤電機工業所	〒080-0014	帯広市西4条南2丁目11	0155-23-7488
北海道	(株)桜井電業所	〒097-0005	稚内市大黒5丁目6-16	0162-23-2553
北海道	大栄電機(株)	〒040-0061	函館市海岸町17-21	0138-42-1594
北海道	太平電気(有)	〒051-0002	室蘭市御前水町1丁目6-30	0143-23-1188
北海道	(有)水野電機	〒070-0036	旭川市6条通15丁目左6号	0166-23-4562
青 森	成田電機工業所	〒036-8217	弘前市茂森町165	0172-36-1241
岩 手	三栄電機工業(株)	〒023-0821	奥州市水沢区神明町1丁目5-43	0197-24-1266
岩 手	(有)クリーンモーター岩手	〒020-0403	盛岡市乙部4丁目130-5	0196-96-2766
宮 城	(株)永井電機	〒981-3111	仙台市泉区松森字中道80	022-373-0092
秋 田	坂井電機工業所	〒010-0954	秋田市山王沼田町2-40	0188-62-7334
福 島	(有)郡山ホイストサービス	〒963-0101	郡山市安積町日出山3丁目210	0249-44-1549
新 潟	(有)大和電機工業	〒950-0812	新潟市東区豊2-3-30	025-273-7177
長 野	(有)エフティ・サービス	〒399-0011	松本市寿北6丁目35番5号	0263-58-3880
長 野	三和電機工業	〒380-0928	長野市若里6-6-24	0262-26-5536
富 山	(株)森山電機製作所	〒930-0814	富山市下富居一丁目字勝膳割39-13	0764-33-8777
福 井	(株)吉田電気機械工業所	〒918-8007	福井市足羽3丁目3305	0776-35-2750
茨 城	高羽製作所	〒310-0068	水戸市根本町1-288	0292-31-3970
埼 玉	(株)誠和電機	〒335-0031	戸田市美女木4-18-10	0484-21-8440
埼 玉	ツールサービス・タナカ	〒364-0026	北本市荒井3-346	0485-91-0230
千 葉	エースキカイサービス	〒262-0011	千葉市花見川区三角町697-7	043-257-8205
東 京	(有)森電機製作所	〒143-0012	東京都大田区大森東5-27-2	03-3766-7700
東 京	江川電機(株)	〒133-0002	東京都江戸川区谷河内2-15-16	03-3670-0592
東 京	東洋工具	〒120-0006	東京都足立区谷中3-8-10	03-3605-7348
東 京	(株)八潮	〒144-0055	東京都大田区仲六郷2-40-4	03-3733-9301
神奈川	(株)ファーストステップ	〒222-0026	横浜市港北区篠原1270 松田ハイツ103	045-423-3853
神奈川	(有)東海電機工業	〒221-0802	横浜市神奈川区六角橋6-28-20	045-491-2681
静 岡	(株)栄和	〒431-1103	浜松市湖東町2902-5	0534-86-3950
愛 知	(株)新名古屋電機商会	〒455-0013	名古屋港区港陽3-12-11	052-652-3411
大 阪	(株)玉井電機	〒537-0003	大阪市東成区神路2-9-25	06-6976-3255
岡 山	三晃デージェル(株)	〒700-0975	岡山市北区今3丁目1-3	0862-41-8266
広 島	広島重電サービス(株)	〒731-0231	広島市安佐北区亀山5-19-23	082-815-2750
香 川	愛神電機(株)	〒761-8083	高松市三名町739-7	0878-66-3411
徳 島	(有)橋本利電業社	〒770-0053	徳島市南島田町2丁目68-2	0886-31-9203
愛 媛	(有)近藤電機	〒790-0056	松山市土居田町330	0899-73-2888
高 知	(有)細川電機商会	〒780-0066	高知市比島町3-20-2	0888-73-3910
福 岡	(株)博多電機	〒812-0055	福岡市東区東浜1-11-26	092-641-2468
福 岡	(有)西日本空機	〒812-0001	福岡県福岡市博多区大井2-13-15	092-621-5346
福 岡	小田電機工業株式会社	〒811-2108	福岡県粕屋郡宇美町ゆりが丘2-2-93	092-932-3942
佐 賀	(有)甲南エンジニアリング	〒841-0202	佐賀県三養基山町長野170-3	0942-81-0635
福 岡	正栄電動サービス	〒816-0904	大野城市大池1-1-5	092-503-6252
長 崎	前田電機	〒852-8017	長崎市岩見町221-26	0958-61-9068
宮 崎	東洋機械産業	〒880-2112	宮崎市大字小松2399-6	0985-47-5099
鹿児島	酒匂電機工業所	〒892-0834	鹿児島市南林寺町24-27	0992-26-7307

トーヨーコーケン株式会社
<http://www.toyokoken.co.jp/>

本社 〒136-8666 東京都江東区東砂8-19-20
TEL 03-5857-3161 FAX 03-5857-3198
山梨事業所 〒400-0415 山梨県南アルプス市宮沢301
TEL 055-282-5581 FAX 055-284-2398
大阪営業所 〒577-0061 東大阪市森河内西1-8-25
TEL 06-6787-7077 FAX 06-6785-2210
福岡営業所 〒812-0893 福岡県福岡市博多区那珂3-23-2 北九州4号室
TEL 092-477-9890 FAX 092-477-9891
名古屋営業所 〒463-0011 名古屋市守山区小幡4-13-1
TEL 052-793-5255 FAX 052-793-5242